

畜産環境整備リース事業貸付機械の利用実態調査結果について

普及情報部

1 はじめに

リース事業でふん尿処理機械を導入している農家に対し、利用の実態、故障発生時の対処、メーカーの対処状況、メーカーへの要望、今後の導入機械計画等について、アンケート調査を行ったので、その結果を紹介したい。

2 アンケート調査の対象

アンケート調査の対象は、畜産環境整備リース事業で貸付し、平成11年貸付満了となる46機種、551件(末端借受者)の機械・装置とした。

3 アンケートの調査項目

今回取りまとめた調査項目は下記のとおりである。

- 1) 導入機械名
- 2) 導入後の管理状況
- 3) 導入後の稼働状況
- 4) 故障時の修理サービス
- 5) メーカーへの改善要望
- 6) リース事業で今後導入したい機械

4 アンケート調査対象機械の区分

アンケート調査の実施に当たっては、貸付機械毎に次の区分に従って調査を実施した。

(1) 堆肥化処理施設

堆肥舎、攪拌乾燥機、発酵機、その他の機械

(2) 浄化処理施設

曝気装置、浄化槽、その他の機械

(3) 固液分離機

(4) 運搬機

- ① トラクター
- ② ローダー
- ③ その他: ダンプトラック等

(5) 散布機

バキュームカー、マニアスプレッター、その他の機械

(6) バークリーナー

(7) その他

換気扇、フィーダー、ベラー、モアー、袋詰装置等

5 アンケート調査の時期

平成10年11月

6 結果

1) 貸付機械別集計について

表-1 貸付機械別集計表

末端借受者数	堆肥化施設機械	浄化処理施設機械	固液分離器	運搬機			散布機	バークリーナー	その他	計
				トラクター	ローダー	その他				
198人	21台	3	10	43	49	41	17	52	31	267

2) 管理、稼働、修理サービス等について

表-2 管理、稼働、修理サービス

区分	管理状況			稼働状況			故障時の修理サービス			
	手入れを十分やっている	時々する	あまりやらない	故障なく順調に稼働	時々故障するが問題はない	故障が多く困る	修理のサービスが良い	修理のサービスが悪い	特に問題はない	
堆肥化施設機械	7	2	1	6	4	0	4	1	5	
浄化処理施設機械	0	2	0	2	0	0	0	0	1	
固液分離機	4	2	0	5	1	0	2	1	1	
運搬機	トラクター	26	10	0	25	10	1	13	0	17
	ローダー	24	8	2	27	7	0	13	1	16
	その他	24	3	1	24	4	0	8	0	15
散布機	4	6	0	9	1	0	4	0	3	
バークリーナー	12	26	3	25	16	1	9	3	23	
その他	16	12	1	17	11	1	4	4	18	
計	117	71	8	140	54	3	57	10	99	

①管理状況

管理状況については、堆肥化施設機械、運搬機等の手入れがよく、浄化処理施設、散布機、バークリーナー等については、手入れが行き届いていない傾向にあった。

②稼働状況

稼働状況は、固液分離器、運搬機、散布機等で故障が少なく順調に稼働しているが、バークリーナーでは「時々故障するが問題ない」の回答が38.1%で、その内容はチェーンの切断、伸び等の細かいトラブルで、自己修理可能な故障であった。

③故障時の修理サービス

全回答166件のうち、「サービスが良い」、「特に問題はない」を合わせると94%であった。しかし、「サービスが悪い」がバークリーナーで3件、その他で4件、全体で10件であった。

特に修理サービスメーカーに改善を求める内容は下記の通りであった。

- ・購入後、一度も状況を見に来ない。
- ・部品だけ送り、定期点検に来ない。
- ・メーカーに修理能力がない。
- ・連絡してからの対応が遅い。
- ・修理依頼しても来ず、他店で修理。

3) メーカーへの改善要望について

表－3 機械別要望件数

堆肥化 施設機械	浄化処理 施設機械	固液 分離器	運搬機			散布機	バーン クリーナー	その他	計
			トラクター	ローダー	その他				
7件	2	4	3	9	3	3	7	7	45

表－4 改善要望内容別件数

材質の改 善	性能の向 上	部品の在 庫	サービスの向 上	修理費が高 い	機械の情 報	その 他	計
13	15	3	3	5	2	4	45

全体の要望件数は45件で、利用機械台数に対し要望率が高かったのは、堆肥化施設機械、浄化処理機械、固液分離機で、トラクターやトラック類の運搬機が低かった。要望内容については表－4のとおりで、材質の改善、性能の向上に対することが多かった。目立った回答をあげると下記のとおりである。

- ・サビの多い部分はステンレスに。
- ・売りっぱなしの業者とは今後取引したくない。
- ・固液分離機の能力アップをしてほしい。
- ・修理代が高すぎる。
- ・アフターサービスが足りない。
- ・年一回、業者としての定期点検をして欲しい。
- ・購入時の説明が不十分。

4) 今後畜産環境整備リース事業での導入希望機械について

表－5 機械別導入希望数

区 分	件 数	主 な 内 訳
堆肥化施設機械	66	堆肥舎、天日乾燥システム、コンポ、その他
浄化処理施設機械	17	曝気装置、浄水処理機、ウレージェット
固液分離機	9	
運搬機	34	ショベル類、ダンプ、トラクター、その他
散布機	21	マニアスプレッター、バキュームカー
バーンクリーナー	18	
その他	32	袋詰機、飼料ミキサー、クーラー、その他

表-1を現有貸付機械数とみた場合、運搬及びバーンクリーナーが約70%を占めている。これまでは、堆肥はとりあえず、舎外へ出すという傾向であったが、今後の要望としては、畜舎近辺での処理用としての堆肥化施設機械の要望が多くなっている。

5)まとめ

今回のアンケートの大きな目的は、機械利用農家と機械メーカーの連携がどのように保たれているかを知ることであった。結果からは「サービスがよい」「特に問題がない」が全体の94%を占めていたことは、メーカー側の日頃の努力の賜と感じている。

しかし、「サービスが悪い」という回答が10件あった。畜産農家は規模拡大を迫られ、機械化によって経営の安定を目指し努力している。飼料の給与と同様、ふん尿処理も1日も休めない作業である。アンケートの中でメーカーへの修理依頼を待ちきれず、近所の業者で間に合わせた、売りっぱなしで、今後そのメーカーとは取り引きしたくない等は、「特に問題はない」をうち消すような強烈的な回答であり、メーカー側の更なるサービス向上に期待をしているものと伺える。